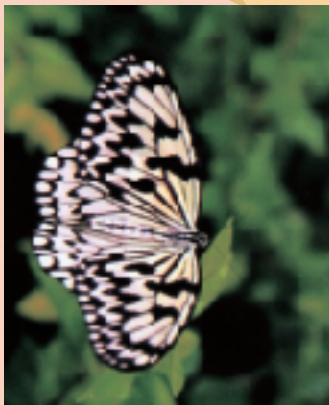


うるま市の蝶
シリーズ⑤

オオゴマダラ



うるま市の蝶
オオゴマダラ

食草を見つけ出す不思議

好き嫌いなく何でも食べる人は、見ていて気持ちがいいものです。しかし、誰でも普通は何らかの好き嫌いがあるものです。実は昆虫の世界でも、好き嫌いのあるほうが当たり前なのです。例えば、オオゴマダラの幼虫はホウライカガミしか食べません。

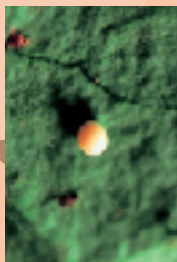
不思議なのは、どうやって自分の食草を見つけ出すのかと言うことですが、一般的には、フェロモンという臭いのようなもので見分けているという説が有力です。しかし低空ならいざ知らず、高い空から臭いなんてわかるのだろうかという疑問も残ります。私が考えるのは、チョウ達目の目である複眼で、食草の葉面反射スペクトルを見分けているのではないかということです。人間とは見え方が違うのだから、同じ緑色でも違う波長の緑色に見えるのではないのでしょうか。いずれにしても根拠はないですが。

(文・写真)

うるま市ちようちよう愛好会
知念 秀樹



ホウライカガミを食べる
オオゴマダラの幼虫



オオゴマダラの卵

羽ばたけ!! スポーツ少年団



宮森クラブ

バレー
ボール

顧問の與座朝明先生と馬場俊憲監督のもと、①学ぼうと努力する心②ルールを大切にすること③人・物を大切にすること④感謝する心⑤チャレンジする心⑥いつでも誰とでもまじめに接する心⑦つらいことをのりこえようとする心⑧7つの心を活動の柱として、明るく元気のあるチームを目指して頑張っています。

打点の高いスパイクを打つエースの山城唯菜、ドライブサーブとフロターサーブの2種類のサーブを使い分けるキャプテン金城舞花の2人を中心に、みんなで明るく元気よくプレーするのが、チームの特徴です。現在のチームでは、目立った実績はありませんが、少しずつ着実に力をつけてきています。

監督や父母は「ピンチのときに声が出せるように、結果を気にせず、思いっきりプレーしてほしい」と元気はつらつとプレーする子ども達に声援を送っています。



安ゲ名 ジャイアンツ

野球

創立39年の安ゲ名ジャイアンツは、市内で一番歴史の古いチームです。「野球にこだわらず、小学生はいろいろなスポーツを体験しなさい」が、38年間監督を務めている内間茂松監督、21年間コーチを務める名嘉山義男コーチの教えです。

チームのモットーは、「常に声を出し、楽しくスポーツ！楽しく野球！楽しく遊ぶ！」こと。

今年は、35年間慣れ親しんできたユニフォームを一新して、リフレッシュした新生安ゲ名ジャイアンツが誕生。2月に行われた中部支部学童軟式野球大会では、ベスト8に残る成績を収めています。チームは、投手の金城諒真、上原聖哉の2人と金城宙の打撃がポイント。バッティングを強化し、打ち勝つ野球を目指して、日々練習に励んでいます。

「相手にのまれることなく、自分の役割をしっかりとこなし、自分達の野球を常にできれば優勝も近い」と監督や父母はこれからの子ども達に期待しています。